

イチョウシラトリ *Serratina diaphana* (Deshayes)

【選定理由】

本種は内湾奥の泥質干潟に生息する種である。かつては北海道以南の日本の広い範囲に分布していたが、近年の詳細な調査の結果、現在では英虞湾以西、瀬戸内海、周防灘及び九州で生息が確認されている (Yamashita et al, 1997 ; 山下・木村, 2012)。県内では、1960年代に衣浦湾 (知多湾奥)、汐川干潟で少ないながらも生息が確認されていた (愛知県科学教育センター, 1967) が、衣浦湾の生息地は埋め立てられ、近年では汐川干潟 (図示標本) や藤前干潟 (河合, 2011) で古い死殻が稀に採集される程度で、絶滅と評価された。



田原市汐川干潟(死殻), 2011年6月5日, 木村昭一採集

【形態】

殻長 5 cm、殻は丸みを帯びた三角形で膨らみが弱い。殻はやや厚く白色、規則的な板状の成長脈で覆われる。

【分布の概要】

【県内の分布】

県内では絶滅した。

【世界及び国内の分布】

日本、東南アジア、インド洋。かつて国内では北海道以南から九州まで分布するとされていたが、現在では上述の通りの限られた水域にのみ分布する。現在では三重県英虞湾が分布の北限の可能性が高い (山下・木村, 2012)。

【生息地の環境／生態的特性】

【選定理由】の項参照。

【現在の生息状況／減少の要因】

上述したような内湾奥の泥質干潟の環境は破壊されているので、本種の生息場所、個体数とも激減し、絶滅したと考えられる。

【特記事項】

千葉県 (2000) では絶滅生物にランクされ、葉山しおさい博物館 (2001) では相模湾の個体群が消滅にランクされている。

【引用文献】

- 愛知県科学教育センター, 1967. 愛知の動物. 222pp.  
葉山しおさい博物館, 2001. 相模湾レッドデータ 貝類, 104pp.  
河合秀高, 2011. 名古屋港のサンドポンプで得られた貝 (その3). かきつばた, (36): 58. 名古屋貝類談話会.  
千葉県, 2000. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック動物編. 438pp.  
Yamasita, Y, Okamoto, M, Harato, M, Fukuda, H, 1997. The present status and conservation values of endangered mollusks in tidal flats and estuaries of Japan-1. Tellina (*Serratina*) capsoides (Bivalvia: Veneroida: tellinidae). The Yuriyagai, Journal of the Malacozoological Association of Yamaguchi, 5(1/2):101-116.  
山下博由・木村昭一, 2012. イチョウシラトリ, p. 129. in: 日本ベントス学会 (編) 干潟の絶滅危惧動物図鑑 - 海岸ベントスのレッドデータブック, 285pp. 東海大学出版会, 秦野.

(木村昭一)